



わ か あ ゆ

東日本大震災被災者等に思いを馳せ、生かされていることに感謝し、自他ともによりよく生きようとする子

世の中の役に立つ人づくり

世のため人のためふるさとのために

全校合唱の「大きな屋根の下で」は、何度も聞いても涙がこぼれるなあ～

涙あり笑いあり 心温まる 6年生を送る会

卒業式まで6年生が学校に来る日もあと数日となりました。先日、2月27日(水)に、毎年恒例の「6年生を送る会」を行いました。5年生が中心になって早くから企画運営してくれました。最初に6年生の入場から始まり、各学年の工夫を凝らした出し物



1年生は劇「お手紙」と歌「勇気100%」。2年生は、劇「スイミー」3年生は、リコーダー演奏「パフ」と音読。4年生は、劇「ごんぎつね」5年生は6年生1人1人への感謝のメッセージ。先生チームも、合唱(いきものがかりのYELL)を歌い、子どもたちや6年生の保護者のみなさんに大いに楽しんでもらいました。



最後のプレゼントは、篠崎校医によるピアノの弾き語り「上を向いて歩こう」です。そして、篠崎先生指揮による新体育館完成記念SONG「大きな屋根の下で」を全校合唱で歌いました。とても感動的でした。

1年生から5年生までの児童は、お世話になった6年生に感謝の気持ちをもって演じられたと思います。とりわけ5年生の児童は、自分たちが「6年生を送る会」を企画運営していくことで、学校全体を動かしていくことの大変さと共にやりがいを感じてくれたのではないかと思います。会場準備から企画運営まで含めて、アドリブも入れて幕間や司会進行を上手に進めてくれた5年生の姿に、これなら来年度学校の機関車として立派にやっていってくれるにちがいないと確信しました。

6年生も、下級生や先生たちの出し物を感謝の心で受け止めてくれたように思います。6年生の出し物、体育実技発表「マッスル」を堂々と演じるその姿に、力強さとたくましさを感じることができました。

6年間のスライドを見ながら、この6年間をふり返り、楽しそうに笑ったり涙している6年生もいました。

6年生のそんな姿を見て、もらい泣きしている先生方や下級生、保護者も数名いました。

涙あり笑いあり、「笑顔と元気」いっぱい心温まる「6年生を送る会」となりました。この子たちならば、中学校に行っても、「笑顔と元気」で、本当によい仲間として活躍していってくれると感じました。今日の「6年生を送る会」を胸に、感動的な巣立ちを迎える卒業式となるように日々大切に過ごしていきましょう

本物の古典落語を聴く会

3月7日(木) 体育館

落語家 金原亭馬治さん馬吉さん来校



3月7日(木)体育館で4年生～6年生の児童と保護者が参加した「本物の古典落語を聴く会」が行われました。前半は、人物の演じ方、扇子と手ぬぐいを使った動作などを学びました。その後、金原亭馬治さんによる「我慢灸」金原亭馬吉さんによる「こほめ」「たぬきさつ」が披露されました。



【児童の感想より】

・金原亭馬治さん馬吉さん、今日は本物の落語をきかせていただき、ありがとうございました。ぼくは、テレビで落語を見たことはありましたが、生で聴くのは初めてでした。1人で話をしているのに、声の調子や言い方を変えていたので何人もの人がいるような感じがしました。また、話の内容もとてもおもしろく、思わず笑ってしまいました。特別な道具を使わなくても、言葉だけで人を楽しませることができるとすごいなあと思いました。

これからぼくたちが音読をしたり、人と話をしたりするときの参考にしたいと思います。馬治さん、馬吉さん、遠いところを本当にありがとうございました。 6年1組 四元 裕理